

●市議会 定数削減ならず

蒲郡市議会では今期、平成31年選挙以来、次期選挙の一年前をめどに議員定数のあり方を議論してまいりました。

この件は私から議会理事會の中で、議員定数削減を目指して発議させていただきました。

実は、前期終了の一年前にも元議員の来本健作氏とともに議員提案したのですが、残念ながら否決されたという経緯があります。

前々期の終了前にも議会で相談をさせていただきましたが、当時の所属会派「蒲郡自由クラブ」の同意を得られず、断念した経緯もあります。

《こたわる理由》

私は平成19年から議員をさせていただいています。それ以前はアパレル業界に身を置いてきました。いわゆる蒲郡の地場産業です。

他の産業でもあったことですが、昭和47年にアメリカとの通商交渉の中で、繊維の輸出規制を、時の政府が受け入れました。

これにより、蒲郡の繊維業界も大きく打撃を受け、国から出て来る補助といえば織機の廃棄に掛かるものなど、業界の縮小に向けたものだけでした。

この結果、個人の所得が減少するばかりでなく繊維関連組合企業数も百分の一にまで減少し、短期間で八千人の雇用が失われ五千人が大都市などへ流出してしまいました。

結果として繊維産業だけでなく市内の小売業や娯楽産業なども大きな打撃を受けてしまいました。



元 勤労青少年ホームの跡地

平成6年には三河織物工業協同組合が設置した三河女子高等専修学校が廃校となり、平成24年3月には繊維関連従事者の多くが利用していた勤労青少年ホームが廃止され、蒲郡市の政策

からも消滅したに等しい状況です。

国の政策の結果である以上、蒲郡市の行政サービスにも限界があることは承知しています。そうは言っても私個人の、そして多くの市民の納税負担感は年々募るばかりでした。

より良い行政サービスを蒲郡市に求めることと同時に、負担感の軽減を図ることは重要なことです。

私にとってはその象徴が定数削減なのです。

《現況》

議員一人の費用は議会関連経費を含めて、年間八百万円程度です。一人の議員を減らしたからといって行政サービスが格段に良くなるわけではありません。議会改革といえるものでもな

いでしよう。



議員在庁パネル（休会中のようす）

蒲郡の人口に当てはめて言えば、最盛期8万6千人であったものが、今では外国人の3千人を含めても8万人を切ってしまった。国立社会保障・人口問題研究所の予測では20年後の蒲郡の人口は7万人を切る

と言われている。負担感が増すばかりです。

《目指すべきもの》

過去を見ているだけでは何の解決にもなりません。蒲郡の実情に合わせた、明確な目標を持つべきです。

町の発展を言っているだけでは大きな間違いを起きます。

平地が少ないからと言って山を崩し、海を埋めるということは現実的ではありません。食の安全保障上からも漁業や農業を守るという責務もあります。

大企業を誘致し、五千人規模の雇用を創出するという目標は、しばらく控えたほうがよいでしょう。再生医療など先端産業は高度すぎで一般化しないでしょう。狭い土地しかない蒲郡で

は、まさしく繊維産業にうつてつけの土地柄だったのです。これを地の利として産業クラスター化や立地補助をすべきではないでしょうか。

《提案》

小さくても良いので蒲郡市東京オフィスを持つべきです。そのオフィスの住所と電話番号を産業クラスターに貸与し企業活動に結び付けてもらうのです。

東京ブランドはいつの時代にも効果があります。具体的には最新ファッション産業です。衰退したとはいえ、蒲郡にはまだ他地区より基盤は整っています。商工会議所ではEGGインキュベーション事業（若者を事業者として育てる支援）もやっています。

ファッションを勉強している学生たちにアピールし蒲郡に産業クラスターを作ることができるとしよう。

近い将来TGC（東京ガールズコレクション）に出展できるデザイナーが生まれたら良いと思います。

卑近な議員の政治パフォーマンスだと言われるかもしれない。あるいは政治圧力だと感じる方もいるでしょう。何の得があるのか、議員は多いほうが政治サービスタにつながるという声も聞きます。国でも最重鎮国会議員が選挙区の削減に大反対を唱えています。それらを全部承知して、私が若いころからずっと感じてきたことを今も訴えているということなのです。

● 質問と答弁

① 子どもを産み育てる環境



妊婦優先駐車場を設置しています

問 若い家族が家を持つ場合の支援は

答 同居で 50 万円、近居で 25 万円の補助をします。春日浦では 10 万円の加算をします。

問 妊婦への支援は

答 出産育児一時金 42 万円を支給し、病院で直接支払

いができます。

問 妊婦優先駐車場は

答 共用ですが看板を設置し適切に整備していきます。



魔女公園（他にも市内にはタコ、恐竜、ヒコ一キなどの愛称が付いた公園があります）

問 公園の遊具はいかがか

答 令和 2 年度に公園長寿命化計画を策定しました。計画的に維持管理および更新をしていきます。

問 トイレの設置状況は

答 公園トイレの清掃管理

は業者に委託することも検討します。老朽化したものは順次建て替えます。

問 保育園環境はいかがか

答 塩津北保育園跡地に低年齢児保育施設を誘致しています。

問 保育士の充足状況は

答 正規 143 名、臨時 83 名、その他パートを配置しています。令和 4 年度は 20 名の正規保育士を募集しています。

② 小中学校の状況

問 他市に自慢できる教育施策は

答 35 人以下学級をすべての学年で実施しています。特別支援補助員、低学年学級支援員、心の教室相談支援員、日本語初期適応指導者、養護教諭支援員を配置

しています。

問 小中学校の建て替えは

答 塩津中学校区と西浦中学校区は計画策定済みです。

問 三谷中学校区と蒲郡中学校区は平成 30 年度、令和 3 年度は中部中学校区と大塚中学校区でワークショップを行います。令和 4 年度は形原中学校区の予定です。

問 塩津と西浦の整備スケジュールは

答 設計で 2 年、建設で 5 年ですがモデルケースです。ので前倒ししたいです。

③ 公共交通の拡充

問 公共交通空白区域は

答 蒲郡北部地区、塩津地区の一部など人口カバー率 10% です。

問 今後の予定は

答 コミュニティバスに

こだわらず、地域の皆様と相談してまいります。



J R 塩津駅

問 ④ JR 駅のエレベーター設置現在の状況は

答 蒲郡駅と三谷駅に設置されており塩津駅と大塚駅は未設置です。

問 国の設置指針は

答 乗降客二千名以上でバリアフリー実現施設として

対象になる可能性があります。塩津駅の利用は2, 824人です。

問 塩津駅はスペースが狭く3基の設置ではだめか

市長答弁 地元から要望があれば確認します。

問 ⑤ 蒲郡の教育白書2021 自己肯定感を持つ子供が減っているようだ

答 コロナの影響で活動が制限されているからだと思えます。模索して教育活動を行っています。

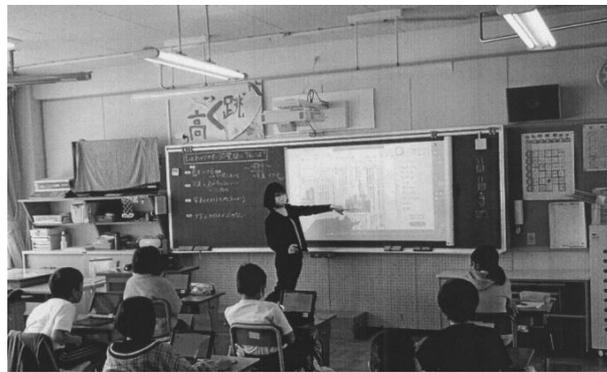
問 SNSでのいじめは認知しているか

答 見えないので把握することは難しいです。問題が大きくなってから教師が知ることが多いです。保護者を含めたスマートフォンの利用を学ぶ機会を設けてい

ます。

問 35人以下学級は

答 9割が30人以下学級となっており、教員確保の問題があり、現状を維持していきます。



タブレットと電子黒板を使った授業風景

問 英語専科教員の配置は

答 現場では増員が求められていますが、県の加配がな

問 プログラミング教育のとらえかたは

答 論理的思考能力や創造性、問題解決能力の育成が目的です。始まったばかりですので教員の指導力向上を目指しています。

問 部活動はどのような外部指導者による活動ができるよう検討を始めています。地域部活動への移行は令和5年度の秋にはモデル部活動を指定します。

問 養護教育支援員の増員が求められている

答 東三河唯一の市単独事業です。さらなる充実を図って行きます。

問 ⑥ 一般廃棄物最終処分場

問 大塚最終処分場のようすはいかがか

答 現在の埋め立て率は約

70%で、令和10年度末に満杯となる見込みです。

問 時期処分場はどのような

答 旧一色不燃物最終処分場を候補地として決定しました。

問 決定の経緯は

答 候補地を3ヶ所抽出し評価値が一番高かったのが一色です。一般廃棄物と災害廃棄物を合わせて6万立米規模になります。

問 地権者や近隣への説明はどのような

答 幸田町、形原8区、形原町全体への説明を進めています。

問 現地隣接の鹿島町や拾石町はいかがか

答 丁寧に説明をさせていただきます。

⑦清幸園衛生処理場の複合利用

問 清幸園のし尿処理の現状は

答 下水道化が進み処理量は大きく減少する見込みです。現在、し尿浄化槽汚泥受入施設導入調査をしているところです。

問 施設周辺の利用状況は

答 施設周辺に余剰地が存在しています。多目的広場を確保し周辺のみな様に利用していただいています。

問 防災関連施設の併設は可能か

答 鹿島町から総代、南部常会長、防災団長連名の要望書が提出されました。愛知県では広域避難推進が防災計画に盛り込まれました。今後、検討する必要がありますと考えます。

